

株式会社ランシステム 様

複合カフェ「自遊空間」の巡回/内部統制の報告工数を80%削減

現場の報告をアプリに一本化、巡回業務の効率化と課題解決スピードが向上

株式会社ランシステムは、複合カフェである「スペースクリエイティブ自遊空間」の事業を展開している。同社ではゾーンマネージャーが店舗を日々巡回している。運営状況はメール、内部統制状況は紙で報告し、集計や履歴管理のために別途Excelにデータ化していた。週1で本部に赴いて対面で報告していたが、健全な店舗運営のためにリモートかつ迅速な情報共有の仕組みが求められていた。そこで運営管理と内部統制の報告を1つにまとめた「巡回報告アプリ」を1日で作成、報告業務と情報共有の効率化を実現した。

課題・目的

- 報告内容によって紙やメールなど運用が異なり、報告や履歴管理に手間がかかる
- 巡回の報告とデータ化に毎日3時間以上かかり、ゾーンマネージャーの業務負担となっていた
- 速やかに現場の状況を把握することで課題解決の迅速化と、健全運営の実現に努めたい

選定ポイント

- 現場で手軽に使えるモバイルアプリをノーコードで簡単に作れる
- サーバー構築や初期費用が不要でコストハードルが低い
- 現場の要望に応じて柔軟かつ素早くアプリの仕様を変更できる
- 誰でも使いやすいUIなので将来的な活用範囲の展開が見込める

効果

- 1からアプリを開発すると数ヶ月かかるところを1日で作成し運用を開始
- 現場の報告・履歴管理をアプリに一本化することでデータ化の工数ゼロを実現
- 3時間の業務が30分に短縮され、年600時間の工数を削減*
- 報告はクラウド経由で関係者に速やかに共有。課題解決スピードが向上し、健全運営が強化された

※ゾーンマネージャー1人あたりの工数



スマホからリモートで報告完了、書類の準備もなくなった



項目の定型化により、属人化していた報告内容が標準化



アラートによる入力漏れ防止で報告品質も均質化

ユーザーの一言



巡回時、店舗の限られたスペースで紙やパソコンを並べていた作業が、スマホ1つで手軽に報告できるようになりました。自社の現場の運用に合ったアプリなので使いやすく運用もスムーズでした。リモートで報告が完結するので、本社に報告に出向く必要もなくなり、現場の働き方改革にも繋がっています。今回の取り組みはデジタル化やプロセス改善を目的とした「現場のDX」の社内事例として、出荷管理や衛生管理など他業務においてもノウハウを展開してまいります。

株式会社ランシステム

システム外販部 部長 黒澤 一秀 氏(左)
システム外販部 課長 荻野 正之介 氏(右)

User Profile



所在地 : 東京都豊島区池袋2-43-1
 会社概要 : 複合カフェである「スペースクリエイティブ自遊空間」の事業を展開。直営店・FC店舗合わせて全国に132店舗を有し、すべてのお客様に楽しい時間と快適な空間を提供している。
 従業員数 : 156名
 URL : <https://www.runsystem.co.jp/>